

ぷらっとホーム、IoTゲートウェイ「OpenBlocks® IoT Family」の 機能を大幅に強化するファームウェア「FW3.0」を提供開始

OpenBlocks® IoT VX1/VX2 をサポート・安心した IoT の長期運用を実現

2017年12月20日、ぷらっとホーム株式会社（証券コード：東証二部 6836、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木友康、以下ぷらっとホーム）は、IoT システムの本番運用を強力に支援する「OpenBlocks® IoT Family」向け IoT ゲートウェイファームウェア「IoT Gateway Firmware 3.0」（以下、FW3.0）を2018年2月より提供開始する事を発表致します。

FW 3.0 は、安定した通信事業品質の Linux カーネルを含み、Modbus を含む双方向シリアル通信が強化されています。また、独立したグラフィカルな管理用ユーザーインターフェース「WEB UI」と、リモート管理用ソフトウェアツールの「AirManage™ for IoT」で遠隔地を含む IoT システムデプロイ後の本番運用を強力に支援する製品となっています。

対デバイス・対クラウド接続をさらに強化し、BLE(Bluetooth Low-Energy)・EnOcean 等の通信プロトコル等を含むほか、近年需要の増加している LoRaWAN、Sigfox などの LPWA (Low-Power Wide-Area) への対応や、車載ネットワークや建設機械・自動販売機等で幅広く使用されている CAN (Controller Area Network) にも対応しました。

さらに、エッジコンピューティングを支援するため、双方向高速メッセージハンドリングシステム Plat'Home Data Handling Module System (PDHMS)を搭載するとともに、Docker コンテナのサポートおよび、OpenBlocks® IoT 上で視覚的にプログラミング可能な最新の Node-RED を標準で搭載しています。また、IoT デバイスの制御に関するプログラミングは Lua 言語をサポートし、従来の IoT ゲートウェイでは困難であったローカル環境でのきめ細やかなデバイスコントロールが必要な IoT 機器でも、IoT システムに組み入れることが可能です。

また、IoT システムの本番運用開始に伴い、お客様のシステムの長期運用をサポートするため、年単位でのサブスクリプションメニューを追加しました。これによりお客様は、FW3.0 搭載の OpenBlocks® IoT について複数年に渡る長期のサポートが得られるとともに、IoT ゲートウェイの統合遠隔管理 SaaS 型サービス、AirManage™ for IoT を標準で利用でき、また、システムの恒常的な維持のためファームウェアバージョンアップ時の通知サービスや、製品利用のサポートを長期的に受ける事ができます。

FW3.0 の主な機能

- IoT エッジコンピューティング機能

PDHMS (Plat'Home Data Handling Module System)

IoT Gateway 内部のアプリケーションモジュールのプロセス間通信を柔軟かつ高速で実現できるよう設計されたシステムアーキテクチャです。Edge 側に様々な機能のアプリケーションモジュールの実装を可能とし、柔軟で高性能な IoT エッジコンピューティングを実現します。

- PD Handler BLE/UART

- ◇ BLE や UART(シリアル通信等)を使ったセンサー等の IoT デバイスからデータ取得等を行うアプリケーション群です。様々な種類の IoT デバイ스에 標準対応しているほか、お客様自身で Lua 言語※による IoT デバイス制御アプリケーションの機能拡張に対応しています。

※Lua 言語：高速な動作かつ組み込みの容易さが特徴のスクリプト言語

- PD Handler Modbus Client/Server

- ◇ PLC(Programmable Logic Controller)等の Modbus プロトコルを使った機器を制御するアプリケーションです。

- PD Repeater

- ◇ 双方向通信に対応したクラウドサーバーや WEB サーバーとの通信アプリケーションです。

- 主な対応サービス

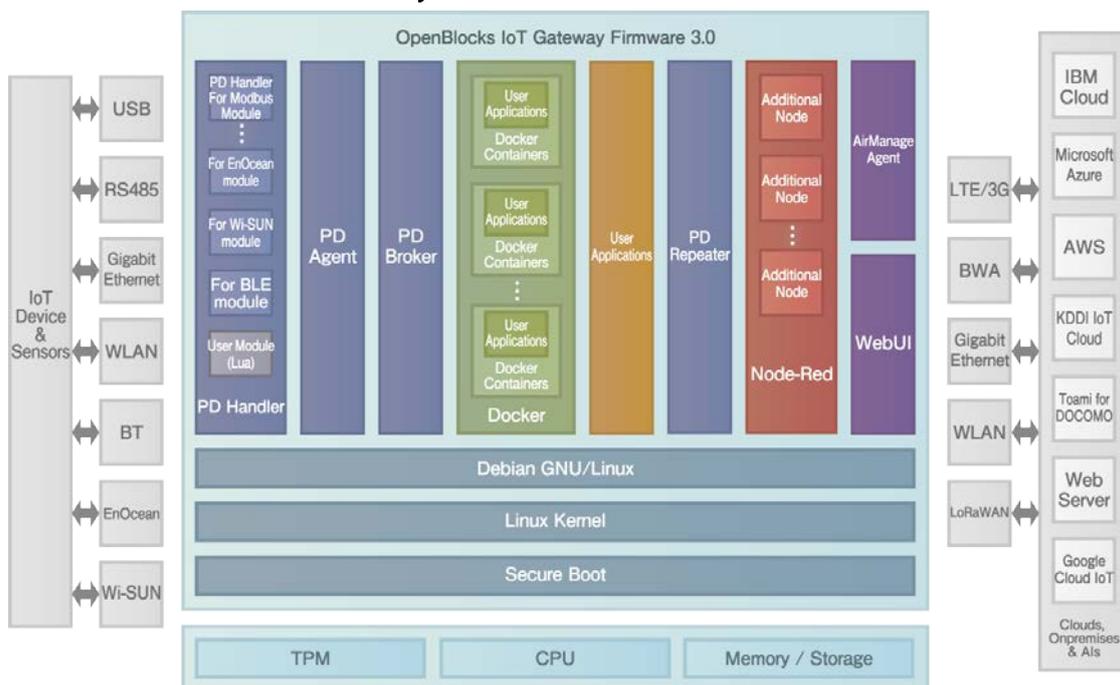
- Azure IoT Hub (双方向通信対応)
- Azure Event Hubs
- AWS IoT (双方向通信対応)
- Amazon Kinesis
- Google IoT Core (双方向通信対応)
- Watson IoT for Gateway (双方向通信対応)
- Watson IoT for Device (双方向通信対応)
- Toami for DOCOMO
- KDDI IoT クラウド Standard
- PD Exchange (双方向通信対応)
- 汎用 Web サーバー
- 汎用 MQTT サーバー (双方向通信対応)

- PD Agent

- ◇ PD Repeater を介してクラウドからの制御メッセージを受け予め設定されたシェルスクリプト等を実行するアプリケーションです。

- PD Broker
 - ◇ 上記アプリケーションモジュール間のプロセス間通信を複数のモジュールに分配するためのアプリケーションです。
- WEB UI
 - Web ブラウザ画面上で IoT 通信機能の操作・設定をはじめ、センサーやビーコンの検索・ペアリング作業、各社クラウドサービスとの接続設定などを行える WEB UI を搭載しています。コマンドライン操作の知識不要で各種設定作業を行うことが出来ます。
- Docker 機能
 - 軽量なアプリケーション実行環境である Docker コンテナの動作をサポートしています。
- Node-RED 機能
 - Node-RED はハードウェアデバイス /API およびオンラインサービスを接続するためのツールです。センサー等から受け取ったデータを加工・処理し、どのクラウドサービスへデータを送るか、どのようなアクションをするか等を WEB UI 上から視覚的にプログラミングする事が可能で、IoT におけるエッジコンピューティングを容易に実現する事が出来ます。またソフトウェアベンダーやクラウドサービスベンダーから提供される Node-RED 用の追加機能（ノード）も容易に追加することができ、さまざまなアプリケーションを容易に追加することが出来ます。

IoT Gateway Firmware 3.0 アーキテクチャ図



サブスクリプション内容

- Q&A サービス※1
 - 製品導入時のセットアップ方法に関するお問い合わせに対応します。
 - ビーコンやセンサー等の IoT デバイスの登録方法に関するお問い合わせに対応します。※2
 - 不具合に対する対応を提供します。（例：Debian パッケージの不具合対策版有無の問い合わせ対応）
- 通知サービス
新たなファームウェアが公開された際、登録されたメールアドレスに通知するサービスです。※3
- 先出しセンドバックサービス
ハードウェア故障時、交換品を先出しにて発送致します。※4
- IoT リモートマネジメントサービス AirManage for IoT
複数台の OpenBlocks® IoT を統合管理する SaaS 方式で提供されるサービスです。複数個所に設置された OpenBlocks® IoT の一括ファームウェアアップデートやリモート WEB UI アクセス等を行うことができます。

※1：当社 FW を標準仕様のまま使用されている際に提供可能なサービスです。お客様によるソフトウェアの追加等、カスタマイズし使用されている場合、サービスの提供をお断りする場合があります。

※2：当社標準サポート機器のみが対象です。（最新情報は当社ホームページにて公開）

※3：ファームウェア（カーネルを含む）は重大な脆弱性が発見された場合に提供されます。

※4：ハードウェア保守へ加入しており、当社製品保守担当者の指示のもとお客様にて切り分け作業を行っていただいた結果、当社が故障と判断した場合に限ります。

FW3.0 対応製品

FW3.0 は OpenBlocks® IoT 製品 (OpenBlocks® IoT VX1/OpenBlocks® IoT VX2) に対応しており、既に当製品をご利用中のお客様も FW3.0 へのアップデートにより、FW3.0 の機能をすべて利用できます。※また、2018 年 2 月より出荷開始される OpenBlocks® IoT VX1 及び OpenBlocks® IoT VX2 は FW3.0 が搭載された状態で納品されます。

※FW3.0 へアップデートする場合の注意事項

- ・FW2.x (ファームウェア Ver. 2.x) モデルへ戻すことはできません。
- ・FW2.x (ファームウェア Ver.2.x) モデルでのデータは本アップデートでは引き継がれず初期状態となります。
- ・FW3.0 へのアップデートの公開は 2018 年 2 月を予定しています。

関連 URL

OpenBlocks® IoT Family ラインナップ

https://openblocks.plathome.co.jp/products/obs_iot/

FW 3.0 の特長

https://openblocks.plathome.co.jp/products/obs_iot/vx2/function.html

ぶらっとホームについて

ぶらっとホームはマイクロサーバーの開発製造大手です。1993年の創業より Linux サーバーのパイオニアとして、通信やネットワーク分野に自社製コンピュータを供給してきました。手のひらサイズの超小型 Linux サーバー「OpenBlocks®」は、大手通信事業者をはじめ、物流、輸送、金融、エネルギー産業、官公庁など日本の社会インフラを支える様々な領域で採用されており、今後大きく成長すると見込まれる M2M や IoT (Internet of Things: モノのインターネット) でも大きな注目を集めています。

本発表に関するお問合せ先

報道機関からのお問合せ先：

- ・ぶらっとホーム株式会社 製品マーケティング部 星 賢志 (ほし けんじ)
pr@plathome.co.jp
Tel 03-5213-4373 / Fax 03-3221-0882

ユーザー向けのお問合せ先：

- ・ぶらっとホーム株式会社 営業部 竹内 敬呂 (たけうち よしろ)
sales@plathome.co.jp
Tel 03-5213-4370 / Fax 03-3221-3766

* 外観・仕様・価格等は予告なく変更する場合があります。

* ぶらっとホームおよび Plat'Home の名称・ロゴは、日本国及びその他の国における、ぶらっとホーム株式会社の登録商標または商標です。

* その他、本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。